

輝 SONODA SPORTS PRESS

経験値教育。
園田学園女子大学
 園田学園女子大学短期大学部
 〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1
 【学部・学科】
 ●人間健康学部/総合健康学科 ●人間教育学部/児童教育学科
 人間看護学科 ●短期大学部/生活文化学科
 食物栄養学科 幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター
 TEL 06-6429-9137
 FAX 06-6429-9116
 URL http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html

大学日本一奪還へ自信



ソフトボール 無敵

春季関西学生リーグ 12季連続

ソフトボールの第48回春季関西学生リーグ戦(女子)は4月10日の園田学園女大―龍谷大戦などで開幕した。11季連続リーグ制覇中の園田学園女大は予選リーグから本領を発揮。上位校で争う1部リーグでは4戦すべてでコールド勝ちを収め、他を圧倒して12季連続優勝に輝いた。投・打・走の個人賞も獲得。選手個々の能力とチームワークがかみ合ったリーグ制覇だった。

投打で実力発揮

リーグ連覇へ
コールド○発進

これから始まるリーグ戦に勢いをつける意味で重要な初戦。園田学園女大は11季連続優勝のプライドを胸に、気を引き締めて試合に臨んだ。

1―3回は無得点に抑えられたが、4回2アウトから打線が目覚めた。児嶋優(総合健康学科4年)と屋瀬未奈(同2年)が連続出塁し、石川恭子(同2年)の2塁打で1点を先制した。

さらに盗塁など機動力でも相手守備を揺さぶった。富本凜子(同4年)のタイムリー2塁打も飛び出し、この回一挙に6得点。終わってみれば、5回コールドで快勝した。

投手戦制す

開幕から3戦連続コールド



ド勝利で勢いに乗るチームを引き締めたのは、第4戦の大阪大谷大戦だった。先発を任せられたのは原奈々(児童教育学科3年)。



守備に助けられながら、相手打線を散発6安打に抑え、7回を無失点で投げ抜いた。原の力投に応えたい打線だったが、相手も好投手。本塁が遠かった。迎えた最終回の攻撃。2死球1安打で1死満塁とし、屋瀬が殊勲のレフト前タイムリー。1―0でサヨナラ勝ちを収めた。先発した原は「全員が最後まで粘り強くゲームを進めることができました」とチーム力の勝利を強調した。

主将の田井亜加音(総合健康学科4年)は「ピッチャーが0点に抑えてくれているのに打撃陣が得点できない試合になってしま

ました。インカレ(全日本大学選手権)は春季リーグの倍のプレッシャーがのしかかります。メンタルや技術の強化、打撃陣の強さが必要だと感じました」。緊迫した試合を制し、チームは甲の緒を締めた。

投・守・打で貫禄

2次部別の1部リーグでも、園田学園女大はコールド勝利を重ねていく。

1部リーグ第3戦の武庫川女大戦では、1回、4番田井、5番椛山奈々(総合健康学科2年)、6番児嶋の主軸3者連続タイムリーなどで4点を先制。5回は代打の森菜々穂(同3年)が放った本塁打などで追加点をあげ、9―0で5回コールド勝ち。最終戦を残して、優勝が決まった。

木田京子監督は「失点が8試合で3点と少なかったです。打線は1番石川が安定して出塁し、児嶋もチャンスメイクできる打線をつくってくれました。進塁をなかなか許さない守備力を保ってくれたため、投手も安心してマウンドで躍動できたのでしよう」と、リーグ戦の戦いを総括した。

大学日本一奪還へ

春季リーグで発揮したように、安定した守備と破壊力のある攻撃が持ち味のチーム。最重要大会であるインカレでは、2012年の優勝以来、準優勝、3位、ベスト8と苦戦している。「地域、学校、関係者をはじめ、みなさんに愛されるチームを目指す」と(木田監督)という園田学園女大が、今年こそ(8月26―29日・鹿児島県南九州市)と強気で、大学日本一のタイトル奪還に挑んでいく。



主要大会成績

◆春季関西学生リーグ女子1部(予選リーグ)

- 園田学園女大○7―0 龍谷大
- 7―1 神戸親和女大
- 7―0 大阪国際大
- 1―0 大阪大谷大

(1部リーグ)

- 園田学園女大○7―0 奈良学園大・奈良文化女短大
- 9―2 太成学院大
- 9―0 武庫川女大
- 10―0 立命館大

(個人賞)

- 防御率①原 奈々 0.00
- 打率①児嶋 優 0.571
- ②石川 恭子 0.500
- 盗塁賞 堤 加菜子 6 個
- ベストプレイ賞 椛山 奈々

◆兵庫県知事杯兼全日本総合女子兵庫大会

- 園田学園女大○3―0 神戸親和女大
- 6―0 武庫川女大

(全日本総合近畿予選進出)



バレーボール部

関西大学女子春季リーグ1部

粘り実らず2勝にとどまる

バレーボールの2016年度関西大学女子春季リーグ1部に2季ぶりに参戦した園田学園女大は、1次リーグ・2次リーグで各1勝にとどまり、1部11位と苦戦。入替戦も敗退し、秋季リーグは2部で戦うことになった。

昨年の秋季リーグ女子2部を全勝制覇し、1部昇格を果たした園田学園女大。前チームの余勢を駆って1勝でも多く積み重ねようと意気込んだが、強豪チームぞろいの1部では初戦から3連敗を喫した。白星が欲しい第4戦は京都産業大と対戦。第1セットを25-23で取ったが、第2・3セットは20-25、25-27と相手に反撃を許した。

劣勢に陥りかけたが踏ん張りを見せ、第4、第5セットを連取。粘って接戦をものにした。1次リーグの下位チームと対戦する2次リーグでも、白星は京都産業大戦の1つだけ。第1セットを16-25で奪われたが、第2セット以降は流れを呼び込み、25-17、25-21、25-14とたたみ掛けた。それでも2次リーグ1勝4敗と勝利が遠かった。



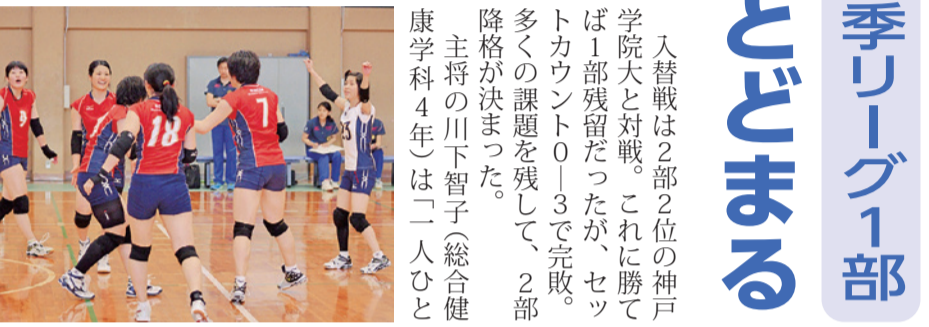
園田学園女大は4回戦から登場。京都産業大に快勝すると、その勢いで前回準優勝の大阪体育大に挑んだ。第1ピリオドから前田実咲(児童教育学科4年)や下吹越紗羅(総合健康学科2年)を中心に得点を重ね、健闘。第3ピリオドは互角に戦い、8点を追って最終ピリオドへ。下吹越が3点シュートを効果的に決めたが、流れを奪えず、突き放された。

順位決定戦に回った園田学園女大は初戦を制し、5位決定戦で立命館大と対戦。昨秋のリーグ戦で2部3位の園田学園女大に対し、立命館大は1部5位。それでも「苦しい場面でもあきらめずに、強いチームに立ち向かっていった」(前田)と果敢に攻撃を仕掛けた。第1、第3の各ピリオドを僅差ながら着実にリード。最終ピリオドは相手に意地を見せられたが、残り

2秒で田中友里乃(総合健康学科4年)が起死回生のシュートを決め、これで勝負あり。立命館大戦で34得点を挙げた前田は「コートの中でもみんなの声が聞こえて、力になりました。全員がそれぞれの立場で頑張ることができた結果です」とチーム一丸を強調した。次なる挑戦はリーグ戦、そしてインカレ。目指す成績につながるために、池内

Table with tournament results: 順位決定戦 (順位決定戦), 準々決勝 (準々決勝), 準々決勝 (準々決勝), 4回戦 (4回戦), 5位決定戦 (5位決定戦). Includes scores for various teams like 立命館大, 園田学園女大, 関西外大, 大阪体育大, 京都産業大.

陸上競技部 (陸上競技部), 剣道部 (剣道部), バスケットボール部 (バスケットボール部), バレー部 (バレー部), テニス部 (テニス部), ソフトボール部 (ソフトボール部). Profiles of team leaders: 田澤麗奈 (田澤麗奈), 武末沙也香 (武末沙也香), 田中友里乃 (田中友里乃), 川下智子 (川下智子), 則信ゆめ (則信ゆめ), 田井亜加音 (田井亜加音).



大会成績 (大会成績)
◆関西学生春季リーグ女子1部
1次リーグ
園田学園女大 0-3 京都産大
0-3 帝塚山大
0-3 関西大
0-3 京都産大
0-3 千里金蘭大
2次リーグ
園田学園女大 1-3 大阪国際大
0-3 武庫川女大
0-3 京都産大
0-3 関西大
1-3 大阪体育大
1部2部入れ替え戦
園田学園女大 0-3 神戸学院大

楽しんで勝つ (楽しんで勝つ)
軟式野球部
軟式野球部は「野球を楽しむ」をモットーに活動しています。初心者が大半で、授業の空き時間を利用して練習に励んでいます。他大学との合同練習や練習試合を含め、関西地区の女子野球の発展を望み、チーム力を磨いています。大学間の交流以外にも、社会人チームと試合をしたり、子どもたちに野球の楽しさを伝えたいと考えて、主に小学校低学年の子どもたちと交流したりしています。女子野球はマイナースポーツですが、多くの人におもしろさを知ってもらいたいと思っています。3月末に交流戦を行い、昨年の全日本大学女子野球選手権優勝校に勝利することができました。昨

大会成績 (大会成績)
◆関西大学女子春季リーグ(途中経過)
園田学園女大 3-10 武庫川女大
0-10 大阪体育大
11-5 大阪芸術大
2-6 武庫川女大
※8月26、31日に富山県魚津市で全日本大学女子選手権大会開催されます。

主将の決意 (主将の決意)
園田らしい野球をし、悔いのないような日々の練習を全力でやっていきたいと思っています。ご声援をお願いします。
年(全日本ベスト8)の悔しさを背負い、今年はベスト4以上を目標に頑張っています。5月開幕の関西地区春季リーグでは優勝が目標です。
「可能性を広げるために努力する選手が多いところが、今年のチームの良さ。全員が思い切ってプレーしています。今季の目標はもちろん日本一。その目標に対して、誰一人としてぶれていません。夏に笑顔でインカレタイトルを取るための勝負は始まっているので、一日一日を大切にしていきます」



陸上関西学生女子総合4位

砲丸投 2位、川原 3位

陸上競技の第93回関西学生対校選手権(関西インカレ)で園田学園女大は2年連続して女子総合4位となった。女子棒高跳の那須真由(総合健康学科2年)が3m90の自己新記録で2連覇を達成したのをはじめ、砲丸投の内田千香子(同3年)も自己新記録の14m12を投げて2位となり、400mハードルでは川原菜摘(同4年)が59秒65で3位に入った。走跳投の各種目で8位以内の入賞は16個を数えた。

那須 自己新で連覇飾る

前回チャンピオンとして臨んだ棒高跳の那須は、優勝争いが3人に絞られた3m60から登場した。1回目は十分な跳躍だったが、バーを落としてしまい、2回目にクリア。3m70、自己記録の3m80とともに1回目に成功させると、正念場の3m90へ。この高さに挑戦するのは那須を含めて2人。那須は2回目にボールの反動に体をうまく乗せて、クリア。相手は3回の跳躍でクリアできず、那須の優勝が決まった。自己新での優勝は今大会の目標の一つ。日本トップ



内田 念願の記録で準V

重さ4kgの鉄球で競う砲丸投では、内田が念願の14

00mリレーでもそれぞれ2走を務め、5位&6位入賞に貢献した。走幅跳では浦山静奈(総合健康学科3年)

主要大会上位成績

- 兵庫学生女子選手権(3位以内)
▽100m ①鈴木12秒55 ②中島12秒69
▽100m障壁 ①小松14秒97 ②4.00m障壁 ①川原1分00秒69 ③鈴木1分06秒74 ④走幅跳 ①中村1m69 ②棒高跳 ①那須3m70 ②三段跳 ②藤田12m08 ③砲丸投 ①内田13m67 ②今井12m77 ③内盤投 ①武藤37m24
兵庫リレーカーニバル
▽女子一般400mリレー ①園田学園女大46秒79 ②鈴木 中島 大橋 宮本
▽関西学生対校選手権
▽200m ⑧鈴木24秒90(+29) ①0mH ⑤中島13秒88 ④400mH ③川原59秒65 ⑥大平1分01秒13 ④4x100mリレー ⑤園田学園女大(鈴木 中島 大橋 宮本) 46秒40 ④4x400mリレー ⑥園田学園女大(川原 中島 堀出 福岡) 3分45秒18 ④棒高跳 ①那須3m90 ⑤竹上3m40 ④走幅跳 ④浦山5m91 ③三段跳 ⑧田澤12m19 ②砲丸投 ②内田14m12 ⑥今井13m03 ③内盤投 ⑤武藤38m27 ⑧西矢36m79 ⑦ハンマー投 ⑧三宅47m27 ⑦七種競技 ⑤新川4568点 ④女子総合4位

選手が出場した4月の織田記念陸上では3m60だったが、総力を注ぐ関西インカレできっちり目標通りの結果を残した。さらに4m00へも挑戦。跳べなかったが、実戦で4m00の高さを味わえた経験は次の機会に活かせるだろう。

m台に到達して準優勝。「14mのラインを越えたい」と思いましたが、実際に記録を聞いたときははうれしかったです」と笑顔を見せた。

剣道部 兵庫学生団体&個人3位

関西学生で武末16強

新年度、新チームが最初に迎えた主要大会が兵庫学生大会だった。団体戦でAチームが、個人戦で橋田紗季(児童教育学科2年)が、それぞれ3位に入賞した。団体戦のAチームは準決勝で代表戦の末、惜敗。主将の武末沙也香(同4年)は「優勝する気持ちで臨みましたが、今までの努力以上のことをしなければ勝つことができない」と実感しました」と振り返った。



関西16強・武末

が5m91で4位に。七種競技の新川涼香(同4年)も粘り強く得点を重ね、4568点で5位に入った。砲丸投6位の今井美夢(児童教育学科2年)や三段跳8位の田澤麗奈(同4年)ら、関西インカレで自己記録を更新した選手も目を引いた。

今年こそ1部昇格! やることすべてが結果に繋がると信じ、全員全力で練習に取り組んでいます。最高のコーチ、最高の仲間と共に、必ず目標を達成したいと思っています。

関西1部へ意気軒昂 ラクロス部
今年こそ1部昇格! やることすべてが結果に繋がると信じ、全員全力で練習に取り組んでいます。最高のコーチ、最高の仲間と共に、必ず目標を達成したいと思っています。

It's fresh 活動レポート
私たちがWHITE TIGERSは現在7人で、チアリーディング部のモットーである「元気・勇気・笑顔」を大切に、日々の練習に励んでいます。

創部10周年記念公演を8月に開催
私たちがWHITE TIGERSは現在7人で、チアリーディング部のモットーである「元気・勇気・笑顔」を大切に、日々の練習に励んでいます。

2016年度クラブ新入生 私たちは、SONODAで心・技・体を磨きます!
【ソフトボール部】 荻野 朝美(福岡大附属若葉高校・福岡)
【バスケットボール部】 小野島由衣(市尼崎高校・兵庫)
【バレーボール部】 平田 早希(金蘭会高校・大阪)
【陸上競技部】 池上 鈴佳(大阪高校・大阪)

